

本学会研究紀要『カリキュラム研究』の「編集規程」改正（2026年3月15日）のお知らせ

このたび、本学会では、研究紀要『カリキュラム研究』の編集規程等を見直すこととしました。改正内容については、学会ウェブサイトをご覧ください（「編集規程」「投稿要領」「投稿にあたっての注意」「原稿テンプレート」）。

改正の背景には、2024年2月に内閣府が公表した、学術論文等の即時オープンアクセスに関する方針があります。この方針では、対象となる競争的研究費による研究成果について、論文が電子ジャーナルに掲載された後、公開禁止期間（エンバーゴ期間）を置かずに公開できるようにすることが求められています。これを受けて、科研費など、2025年度に新たに公募される対象競争的研究費による研究成果については、掲載後すぐにオープンアクセス化できることが必要になってきました。

一方で、本学会ではこれまで、『カリキュラム研究』掲載論文等のJ-STAGEでの一般公開を、冊子体刊行から1年後としてきました。そのため、国の方針との関係で、著者がより早い段階で研究成果を公開できるようにするための仕組みを整える必要が生じました。

また、J-STAGEでも、オープンアクセスへの対応を進める際には、著作権やライセンスの扱いを明確にし、投稿規程等にセルフアーカイブに関する方針を明記することが勧められています。

そこで本学会では、関係規程を見直し、『カリキュラム研究』に掲載された論文等について、J-STAGEでの一般公開を待たずに、所属機関の機関リポジトリ等で速やかに公開できるようにすることとしました。これにより、対象競争的研究費による研究成果についても、即時オープンアクセスの要請に対応しやすくなります。なお、具体的な公開方法や、公開できる版の範囲については、本学会の定める規程に従うことになります。

会員の皆様におかれましては、以上の趣旨をご理解くださいますようお願い申し上げます。

日本カリキュラム学会